

農業政策

年を重ねるとみえてくるものが多々ある。その一つ農業政策である。米つくり農家は食べていけないと言って、議員を送り、国に購入してもらおう形をとり、価格を釣り上げていった。そのうち余剰米が増え、倉庫には古米が山積みされ、休耕田策がとられた。しかし、国際的には、オーストラリア、アメリカなどの国が米を作るようになると、広大な土地で機械や飛行機を使って、しかも少人数生産するので、太刀打ちできない。増々農家は追い打ちをかけられ。若者は都会へ流れ、過疎化が進行して言っているのが現状です。政府は何故対策を取らなかったのか、現況を農家に認識させ、農協を中心に対策を検討し、例えば、小さな田んぼは集約して事業化し、利益は配当化する。千枚田の様な所は適材適所、例えば果樹を植えるのも一考だろう。また、米だけでなく地域の特産を生産するのもよいだろう。政府は指針を与える必要があったのです。地方の若者に仕事を与える必要があったのです。